

(2) 次世代大規模品質管理システム実用化事業

ア 推進事業詳細

(ア) 次世代大規模品質管理システムを構築する目的

--

(イ) システム構築への支援体制

--

(注) 構築に当たっての独法、大学等の研究機関、普及組織の関わりを明示する。必要に応じて、体制図を添付する。

(ウ) システム実用化に向けての年次計画

実施年度	具体的実施内容		
	広域品質管理システム構築	品質区分集荷システム構築	その他
平成19年			
平成20年			
平成21年			

(注) 「その他」には、団体推進事業にあつては次世代大規模経営品質管理システム実用化検討委員会、実用化現地協議会等が取り組む事業内容についての年次計画を、地区推進事業にあつては協議会等が取り組む事業内容についての年次計画を記入する。

(エ) 広域品質管理システムの構築

取組	具体的取組内容	備考
1.ほ場の土壌診断の実施		
2.ほ場ごとの土壌診断、栽培管理情報等のデータベース構築		
3.デジタル画像取得のための高所作業車等の改良		
4.デジタル画像解析によるほ場ごとの生育診断システムの開発		
5.生育診断結果に基づくタンパク質含有量推定システムの開発		
6.その他()		

(注) 上記のうち取組を選択して記入する。

(オ) 品質区分集荷システムの構築

取 組	具体的取組内容	備考
1. GPSを活用したほ場ナビゲーションシステムの開発		
2. 区分集荷を行うための共同乾燥施設における荷受、乾燥・貯蔵プラントの改良		
3. 米の品質・食味分析の実施		
4. 品質・食味値のデータベース構築		
5. その他 ()		

(注) 上記のうち取組を選択して記入する。

イ 整備事業詳細
品質区分集荷システムの核となる制御施設
a 施設概要

制御施設に必要な設備	施設規模・処理能力	備考
1.農地GIS関連設備		
2.土壌診断設備		
3.デジタル画像設備		
4.生育診断設備		
5.タンパク質含有量推定設備		
6.品質・食味分析設備		
7.情報管理設備		

- (注) 1 上記のうち、制御施設に必要な設備を選択する。
2 制御施設全体の作業フロー図を添付する。

b 区分集荷を実施する共同乾燥施設の概要

名称	
所在地	
計画処理能力 (t)	
区分集荷を行う量 (t)	

(注) 区分集荷を実施する施設と制御施設の位置関係を示す地図等を添付する。

c 区分集荷の取組

品種	品質区分	区分設定の考え方	備考

- (注) 1 「品質区分」には、品質区分集荷システムの中で仕分けた区分(タンパク質含有量 % ~ %等)を記入する。
 2 「区分設定の考え方」には、「良食味区分を 米として販売し、ブランド化を図る」等区分を設定した考え方を記入する。

d 分析診断結果の営農指導への反映

取組内容	備考
(例) 土壌診断に基づく適正施肥指導 (例) 生育診断に基づく追肥の抑制 (例) 食味分析結果に基づく次年度の営農指導	